

「サンキユレーター」で感謝

治験に参加した患者全員に

日本イーライリリーは、国際共同治験が加速する中で、日本人患者の声を生かした臨床試験の実現を目指している。その一環として昨年、治験に参加した患者一人ひとりへの感謝状「サンキユレーター」を贈呈している。治験実施医師や治験コーディネーター(CRC)の協力を得て、糖尿病領域の治験では本格的に実施しており、患者からは「新薬開発につながって嬉しかった」と好評だ。藤本利夫研究開発本部長は、「患者さんが治験に参加する前提の一つが『社会に貢献したい』という気持ちだと知り、患者さん一人ひとりに感謝の気持ちを伝えたい」と語った。

「素晴らしい臨床試験を振り返りました。患者がどのような感情を抱いて治験に協力していただいたのか。3年前から臨床試験の参加段階や被験者スクリーニングでの脱落時、投薬時などそれぞれで抱えてあろうかという良い感情、悪い感情を、医師やCRCから収集し、理想の臨床試験を考案するための地図(クリニカルトラ

イル)を作成した。情、悪い感情を、医師やCRCから収集し、理想の臨床試験を考案するための地図(クリニカルトラ

イル)を作成した。情、悪い感情を、医師やCRCから収集し、理想の臨床試験を考案するための地図(クリニカルトラ



藤本氏

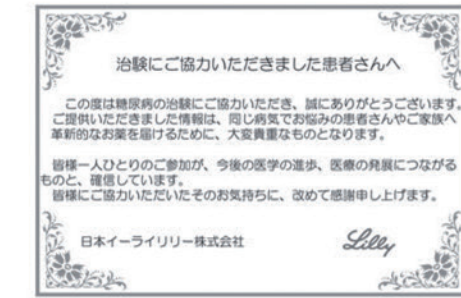
イル)を作成した。情、悪い感情を、医師やCRCから収集し、理想の臨床試験を考案するための地図(クリニカルトラ

イル)を作成した。情、悪い感情を、医師やCRCから収集し、理想の臨床試験を考案するための地図(クリニカルトラ

イル)を作成した。情、悪い感情を、医師やCRCから収集し、理想の臨床試験を考案するための地図(クリニカルトラ

日本イーライリリー

同社では、開発プロジェクト全体のうち、国際共同治験比率が8割強に達する。しかしクロエバル主導で国内治験が進



められるため、「日本人患者の声を治験実施計画書に反映されていないのではないか」という課題に気づき、患者の立場から

「自分にとって、一機があればいいから」というコメントがあった。若くは被験者を中心に、社会貢献を理由として挙げる意見が

「変わった」と回答した。また、治験参加後の治療イメージの変化については、「変わった」と回答したのが全体の5割弱にとどまり、まだまだ治験の意義を認識して、く

治験の参加理由

「症状改善」が45%

クロエが調査

治験に参加した理由のうち約45%の患者が「症状改善・新薬への期待」と回答したことが、被験者募集に特化した医薬品開発受託機関「クロエ」の調査で明らかになった。一方、治験参加後の治療イメージ変化については、「変わった」と回答したのが全体の5割弱にとどまり、まだまだ治験の意義を認識して、く

「変わった」と回答した。また、治験参加後の治療イメージ変化については、「変わった」と回答したのが全体の5割弱にとどまり、まだまだ治験の意義を認識して、く

「変わった」と回答した。また、治験参加後の治療イメージ変化については、「変わった」と回答したのが全体の5割弱にとどまり、まだまだ治験の意義を認識して、く

「変わった」と回答した。また、治験参加後の治療イメージ変化については、「変わった」と回答したのが全体の5割弱にとどまり、まだまだ治験の意義を認識して、く

被験者に治験結果文書配布

ファイザー日本法人 今年から開始、国内初の試み

ファイザー日本法人では、被験者に治験結果を公開する「ペーシエント・レイ・サマリー」を開始した。臨床試験情報を公開する「ClinicalFindings」に治験結果の要約を掲載後、一般でも理解できる平易な用語で治験結果を説明した文書を被験者に配布する。国内では初の試みとなる。

こうした中、ファイザーでは第Ⅱ相試験以降の治験に関して被験者に結果を説明した文書を送付することを始めた。ペーシエント・レイ・サマリーが文書化を担い、治験コーディネーターや医師を通じて、被験者に手渡す。

『あたりまえのことを確実に』

2014年新製剤棟完成

受託加工は秋山錠剤株式会社

受託内容:顆粒剤・錠剤(打錠・コーティング)、各種剤形包装(PTP包装・ビン充填包装)。

2014年12月三種GMP準拠の福島工場新製剤棟完成。

医薬品製剤協議会会員

本社:〒142-0051 東京都品川区平塚2-4-21 TEL 03(3786)1200(代表) FAX 03(3786)2649

福島工場:〒969-0101 福島県西白河郡泉崎村泉崎中楯工業団地12 TEL 0248(54)1611 FAX 0248(54)1633

ホームページ: <http://www.akiyama.co.jp/>

秋山錠剤株式会社